

令和元年度 社会福祉法人慈照会事業報告

通常規模型通所介護事業
認知症対応型通所介護事業
短期入所生活介護事業
訪問介護事業
居宅介護支援事業
介護老人福祉施設事業
ケアハウス事業

令和元年度社会福祉法人慈照会事業報告

1. 総括

わが国経済は、中国やアジア新興国経済の減速リスク、米国政権による政策動向等世界経済の不確実性が増す中、10月以降の消費税増税の影響も見られ、景気の先行きについては不透明な状況が続いた。年明けからの新型コロナウイルスの感染拡大は、人類にとって歴史的な危機になりつつある。新型コロナウイルスとの共存は異常事態ではなく、ニューノーマル（新常态）となり、経済や社会活動、そして介護業界にも大きな影響を及ぼし始めている。

当法人では、消費税増税に伴う介護報酬改定に対応し、各種書類を作成し、利用に係る同意書を交わした。特養・ケアハウスの指導監査、通所、訪問介護の実地指導を受け、特養、通所、訪問介護の6年に一度の指定更新手続きも行った。職場環境改善のため、ノートパソコンの増台、通所介護サービス計画ソフトの導入、駐車場ラインの更新、廊下・会議室等のLED照明への更新、施設内表示板の変更、Wi-Fi環境増強による眠りスキャン導入、エアコン分解清掃等を行った。汚れや劣化が目立っていたデিশョート着脱室を改修し、利用者、職員にとって快適な環境づくりができた。

人事労務管理について、正規職員昇給率は0.9%、滋賀県の最低賃金のアップに合わせ、一部職種の時給をアップした。介護職員特定処遇改善加算について、介護福祉士、経験の長い職員、夜勤者に重点的に配分し冬季賞与時に支給した。人材確保については、採用に一定の経費を投じて、他法人と差別化できる取り組みを進めた。採用コンサルの提案により、リクナビ等を活用し、求職者との新たな接点を作ることができた。今後も採用のノウハウを蓄積し、全職員で人材確保を進める体制をつくりたい。10月より、課題となっていた産業医について、レイメイクリニックの富田医師に変更し、衛生委員会、職場巡視体制が正常化した。

地域の公益的な取り組みについては、地域サロンへの職員派遣、ふれあい広場看板を設置し立ち寄りやすい環境を作り、羊2頭を飼育した。滋賀県職員共済会会報「ふれんどりー」に掲載され、滋賀県老人福祉施設研究協議大会、社会福祉学会にて事例発表し、奨励賞を受賞した。大きな宣伝効果と今後のモチベーションに繋がった。発展的に取り組みを継続したい。

多くの事業所で昨年を下回る利用実績となったが、収入予算は確保した。人材の確保、育成は、継続した難しい課題であるが、新たなチャレンジも始めており、今後も継続して取り組みたい。

※重点目標

(1) 働きやすい職場づくりと人材の確保・定着

特定処遇改善加算支給、採用媒体の工夫、介護人材との新たな接点づくり、施設見学の充実、土日祝日手当の拡充、働きやすい職場対策（コミュニケーション促進、時間管理の徹底、有給休暇取得促進、記録データ活用、福祉用具・介護ロボットの活用）の実施、ホームページによる情報発信

(2) 職員教育体制の充実とキャリアアップの推進

キャリアアップに合わせた施設内研修の実施、記録データの育成活用、福祉用具・機器の積極的な学び、資格取得促進

(3) 地域交流と貢献

地域の公益的な取り組みの推進（サロン支援、羊の飼育、地域会議参加等）、三方よし主催初任者研修への協力、滋賀県老人福祉施設協議会副会長施設・東近江介護サービス事業者協議会会長・滋賀県介護サービス事業者協議会連合会役員としての活動、地域密着型介護事業運営推進会議の実施

2. 事業別報告

【通常規模型通所介護事業】（定員：30名）

予防を含む一日平均利用者数は26.3名（昨年比96.6%）となった。

重点目標：事故・苦情防止、自立支援を進め、安心安全なサービス提供を行う

ヒヤリハットの活用、事故苦情防止対策の徹底、機能訓練による自立支援により、安心安全なサービス提供を行う。

結果：事故・苦情の取り組みについては、ヒヤリハットの充実の取り組み等計画通り進行しなかった。研修会については不十分であった。

【認知症対応型通所介護】（定員：12名）

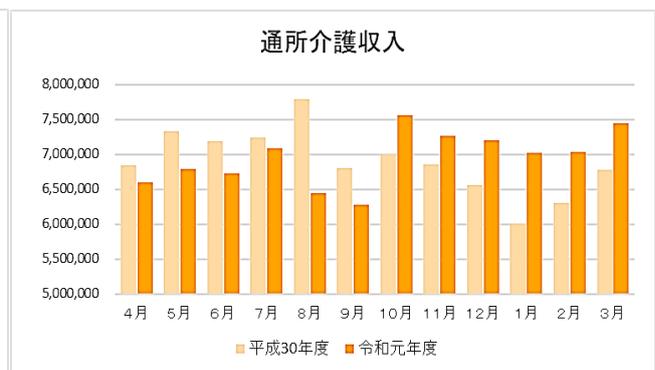
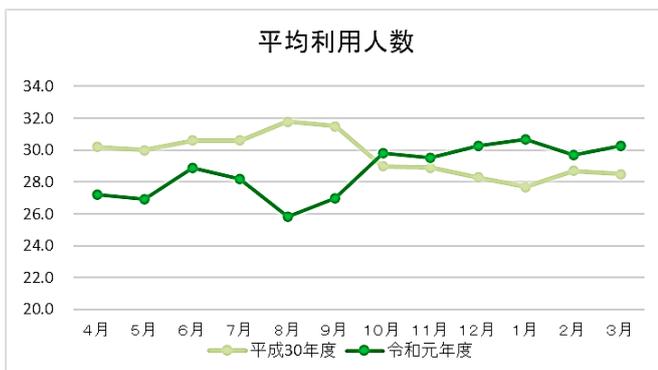
一日平均利用人数は2.3名（昨年100.0%）となった。

重点目標：認知症ケアの向上により利用者数増加を目指す

定期的なアセスメント・勉強会の実施、認知症基礎研修、実践者研修等に参加し認知症ケアの向上を利用増に結びつける。

結果：勉強会等については不十分であり、各種研修にも参加できなかった。利用が低調であり、なかなか好循環に至らない状況が続いている。

	営業日数	利用実人員	新規利用者	一日平均利用人数			
				介護予防	通常規模	認知症対応	合計
4月	26	80	4	2.0	22.9	2.2	27.1
5月	27	78	0	2.2	22.3	2.3	26.8
6月	25	82	3	1.8	24.8	2.1	28.7
7月	27	81	1	1.4	24.5	2.1	28.0
8月	27	76	4	1.3	22.3	2.2	25.8
9月	25	77	2	1.0	23.6	2.3	26.9
10月	27	82	7	1.0	26.1	2.4	29.5
11月	26	81	3	1.3	25.6	2.5	29.4
12月	25	81	3	1.5	26.2	2.5	30.2
1月	24	81	1	1.5	26.8	2.2	30.5
2月	25	81	2	1.3	26.1	2.1	29.5
3月	26	82	2	1.3	26.8	2.2	30.3
	310	962	32	1.5	24.8	2.3	28.6



【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

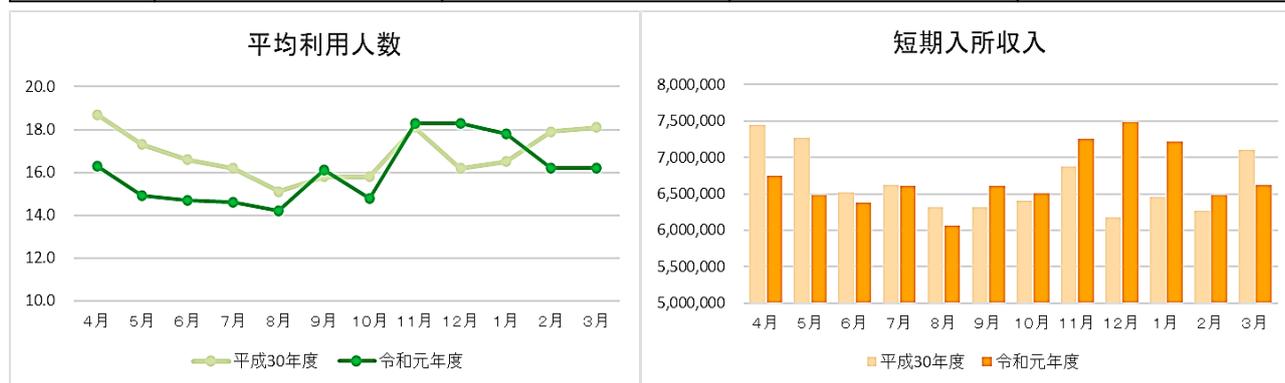
一日平均利用者数は、16.0名（昨年比95.2%）となった。上半期、特養と合同のケアを実施した時期の利用人数、稼働率が低調であった。

重点目標：福祉用具・介護ロボットの活用による職員の業務負担軽減とサービスの向上

福祉用具・機器（スライディングボード、移乗用リフト、眠りSCAN等）、介護ロボットを活用し、利用者にも職員にも負担の少ない介護を目指します。

結果：移乗用リフトについては、特定の利用者への活用ができ、利用者や職員共に負担軽減に繋がったが、他の必要な利用者への活用が不十分であった。眠りスキンの導入により、一人一人の生活リズムや睡眠状態の確認（心拍や呼吸数等）ができ、見守りや巡回に役立てる事で身体的、精神的負担の軽減に繋がった。

月	新規利用者	利用実人員	一日平均利用人数	ベッド稼働率（%）
4月	2	71	16.3	101.7
5月	4	71	14.9	93.0
6月	4	69	14.7	91.9
7月	4	73	14.7	91.7
8月	2	72	14.2	88.7
9月	5	68	16.1	100.4
10月	3	71	14.8	92.7
11月	3	78	18.3	114.4
12月	2	71	18.3	114.5
1月	3	70	17.8	111.5
2月	6	70	16.2	101.5
3月	4	69	16.2	101.6
	42	853	16.0	100.0



【訪問介護事業】

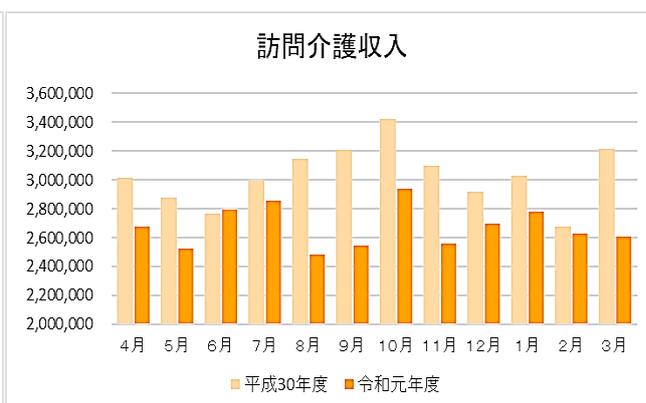
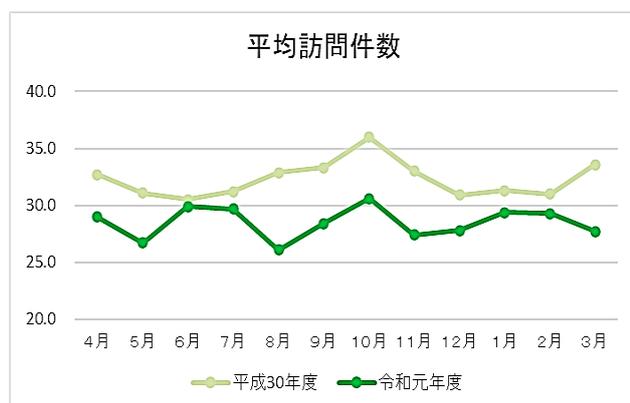
述べ訪問件数は10,429件、一日平均利用者数は28.6名（昨年比88.2%）となった。

重点目標： 職員間の連携により、安心安全なサービス、自立支援に努める

職員間の連携により、ご利用者が安心かつ安全に生活でき、その人らしい生活ができるよう自立支援に向けたサービスを行う。

結果： 困難ケースが多く、職員間の連絡は、速やかに詳しく分かりやすくを重視した。利用者の計画はより緻密にし、利用者や家族とは連絡を密にし、常に安心してもらえるように心がけた。利用者の出来ることを尊重し自立支援に努めた。小さなことでも見逃さないよう、気づきを大切にし、サービスを提供した。

月	第1号訪問事業		訪問介護事業		第1号訪問+介護		一日平均利用者数
	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	
4月	6	59	57	811	63	870	29.0
5月	6	57	55	773	61	830	26.8
6月	6	53	57	842	63	895	29.8
7月	5	45	61	875	66	920	29.7
8月	4	46	53	764	57	810	26.1
9月	4	47	53	804	57	851	28.4
10月	4	43	59	907	63	950	30.6
11月	4	43	58	780	62	823	27.4
12月	4	51	61	810	65	861	27.8
1月	5	64	65	847	70	911	29.4
2月	4	47	57	803	61	850	29.3
3月	4	50	57	808	61	858	27.7
	56	605	693	9824	749	10429	28.6



【居宅介護支援事業】

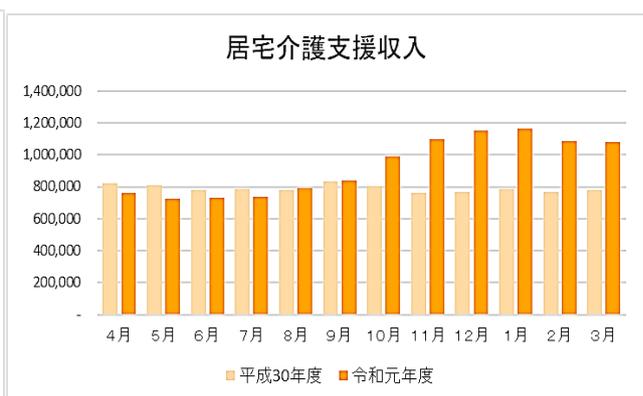
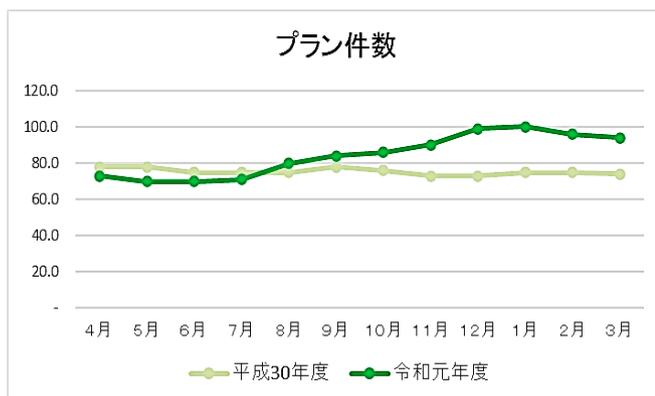
ケアマネ1名が増え、新規利用者39件（昨年比278.5%）、プラン件数は84.3名（昨年比111.9%）となった。

重点目標：地域の暮らしと人生の最終段階まで自立した生活ができるための支援

地域での生活から看取り期までの各生活ステージに応じて、状況に合わせた対応、連携を強化していく。

結果：5月に職員が加入し、件数が増え連携も重要性が増した。担当者に関しては、その都度の迅速な対応・連携を心掛け、同時に法人内外の事業所との密な連携を図った。そのために事業所内で毎日の担当者確認を中心に連携を強めた。

月	新規利用	事業対象	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	4	0	7	9	24	10	11	7	4	72
5月	0	0	7	7	24	10	12	8	2	70
6月	1	0	7	8	23	10	12	8	1	69
7月	2	0	6	11	23	9	12	8	2	71
8月	7	0	6	14	24	12	12	10	2	80
9月	4	2	10	13	24	12	11	12	0	84
10月	1	2	13	14	25	10	10	13	0	87
11月	5	2	13	16	26	10	9	14	1	91
12月	10	1	17	15	29	14	9	12	1	98
1月	1	1	16	16	30	14	9	12	1	99
2月	2	1	15	17	30	14	10	7	2	96
3月	2	1	14	16	30	13	10	8	2	94
合計	39	10	131	156	312	138	127	119	18	1011
月平均	3.3	0.8	10.9	13.0	26.0	11.5	10.6	9.9	1.5	84.3



【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

平均在居人数は48.0名（昨年比100.2%）となった。昨年に引き続き入院が多く、入居手続きにも日数を要した。

重点目標：福祉用具の活用、職員間のコミュニケーションを促進する

積極的に福祉用具を活用し、入居者への負担軽減、安全確保を図る。また、職員間のコミュニケーションを促進し、業務の効率化と共に働きやすい職場づくりにつなげる。

結果：福祉用具の積極活用を目指してきたが、使用の定着のみで多種多様な展開までは至らなかった。しかし、入居者から移乗に伴う痛み、不安の軽減も聞かれ、事故の軽減にも繋がった。職員間のコミュニケーションについては、会議内を利用し促進の場を設けるなど新たな試みもした。ただ、職員間の理解度や認知度の差もあり情報共有されないことが多く、コミュニケーション活性化には至らなかった。

令和2年3月31日現在

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	1	2	1	2	1	1	1	0	1	1	1	1	13
退居	4	0	0	1	2	1	0	1	1	1	1	0	12
在籍者数	52	52	53	54	54	53	54	54	53	54	53	54	53.3
在居人数	48.1	48.9	49.0	48.8	44.1	45.9	47.7	47.9	49.4	48.7	49.4	47.6	48.0

入居者年齢状況

	男性	女性	全体
最高年齢	92	103	103
最低年齢	73	77	73
平均年齢	82.3	87.5	86.9

年齢	男性	女性	計	構成比(%)
70～74歳	1	1	2	3.7
75～79歳	1	4	5	9.3
80～84歳	2	14	16	29.4
85～89歳	1	14	15	27.8
90～94歳	1	8	9	16.7
95～99歳	0	3	3	5.6
100歳～	0	4	4	7.4
計	6	48	54	100.0

入居者在居期間

	男性	女性	平均
平均在居期間	28.3ヵ月	56.6ヵ月	53.4ヵ月

在居期間	男性	女性	計	構成比 (%)
1年未満	2	10	12	22.2
1年以上2年未満	1	5	6	11.1
2年以上4年未満	1	13	14	25.9
4年以上6年未満	2	4	6	11.1
6年以上8年未満	0	5	5	9.3
8年以上10年未満	0	7	7	13.0
10年以上	0	4	4	7.4
合計	6	48	54	100.0

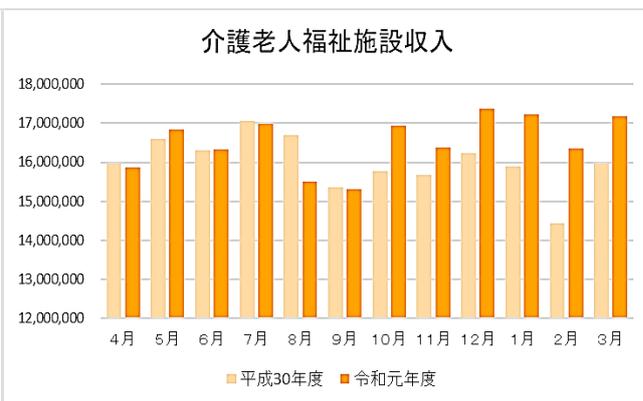
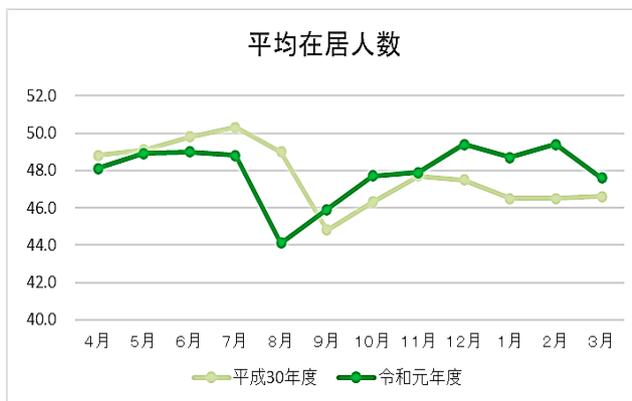
要介護度別入居者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	3	6	8	22	15	54
構成比 (%)	5.6	11.1	14.8	40.7	27.8	100

平均要介護度 3.74

待機者数 ※介護保険認定有効期間内の方

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	4	5	43	79	30	161
構成比 (%)	2.5	3.1	26.7	49.1	18.6	100.0



【ケアハウス事業】（定員：15名）

新規入居者0名、退居者2名であった。入居に関する問い合わせ12件、施設見学10名、申込者8名（不受理4名）で、年度末時点で個室待機者5名（4名保留）、2人部屋1組であった。

重点目標：楽しみのある生活を入居者とともに追求し、宣伝活動等により待機者を確保する
サークル活動や趣味活動、行事を通して楽しみを持ってもらうことにより生活満足度を上げる。入居者個々が安心して暮らせるように、プライバシーが守られた環境の整備を行う。ホームページ等でケアハウスの行事等生活状況を随時発信し、宣伝活動を進める。職員のスキルアップの為、認知症の理解と予防に努める。

結果：年間を通して新規入居者を迎え入れる事が出来なかった。待機者がさまざまな理由により入居に至らなかった。入居者も重度化しつつあり、重度化しても安心して生活出来るよう対応していくとともに、現状維持出来るようにもっと多種多様な取り組みが必要である。

令和2年3月31日現在

入退居状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
退居	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
入居者数	15	15	14	14	14	14	14	13	13	13	13	13	—

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65歳～69歳	0	0	0	0
70歳～74歳	0	0	0	0
75歳～79歳	0	1	1	7.7
80歳～84歳	1	1	2	15.4
85歳～89歳	1	3	4	30.8
90歳～94歳	4	2	6	46.1
95歳～99歳	0	0	0	0
100歳～	0	0	0	0
合計	6	7	13	100.0

最高年齢 男性 95歳 女性 95歳
最低年齢 男性 84歳 女性 77歳
平均年齢 男性 91.5歳 女性 87.3歳 全体 89.3歳

平均入居年数

男性	3年7ヵ月	女性	5年9ヵ月	全体	4年8ヵ月
----	-------	----	-------	----	-------

入居者要介護度

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3～5	合計
人数	2	2	1	6	2	0	13
構成比 (%)	15.4	15.4	7.7	46.1	15.4	0	100.0

3. その他事業

【配食サービス】

営業日数310日、食数971食（昨年比104.7%）、1日平均3.1食であった。

【消防・防災】

総合訓練を5月に、夜間想定消火訓練を2月に実施した。5月、11月の2回消防設備点検を実施した。

【人事考課制度】

6月に平成30年度下半期評価、総合評価を実施し、「A」評価の職員については、評価賞与、評価昇給、昇格を実施した。マイナス評価の減額賞与も実施した。12月に上半期の評価を実施し、「A」評価の職員については、評価賞与を支給した。マイナス評価の減額賞与も実施した。

【衛生委員会】

新しいテーマを含めて月1回実施した。10月よりレイメイクリニックの富田医師と産業医契約し、正常化できた。

4月	議題及び年間計画について	10月	運動習慣について
5月	食中毒について	11月	インフルエンザについて
6月	熱中症について	12月	健康診断結果の見方について
7月	歯の健康について	1月	ノロウィルスについて
8月	交通安全について	2月	新型コロナウイルスについて
9月	メンタルヘルスについて	3月	新型コロナウイルスの為中止

【委員会活動等】

（研修教育体制チーム）会議開催数7回

人材確保・定着、職場環境改善のための議論を重ねた。9月のびわこ学院大学職場説明会の内容について検討。11月に、お互いを褒め合う職場風土の育成のため月間MVPの投票を実施し、得票上位者5名、投票上位者2名を表彰した。インテリジェンスオフィスと契約し、中長期的な人材確保のための取り組みを開始した。若手職員の採用担当育成を進めた。

（事故、苦情防止委員会）委員会開催数5回

事故、苦情を分析し、全事業所に周知し、課題を共有した。事故防止強化月間（9月）を実施、交通安全DVD全体研修、各事業所単位のリスクマネジメント研修を実施した。職員のヒヤリハットの取り組みが不十分であったため、再周知に努め、苦情報告書の様式を変更した。

（環境整備委員会）委員会開催数9回

職員交流のため、ボーリング大会（6月）、夏祭り打ち上げ（8月）、法人忘年会（12月）を計画し実施した。新たに環境整備のため施設内清掃強化月間（10月・3月）を実施した。

【職員研修等】

全体研修、各事業所の研修会を実施。新テーマとして、コミュニケーション学博士の中澤美依先生による全7回のリーダーシップ研修会をスタートした。外部の会議・研修に延べ210名を派遣した。

※施設内全体研修会

実施日	テーマ	講師等	参加者数
6月25日～7月4日	食中毒予防研修	DVD	65名
9月17日～25日	交通安全研修	DVD	69名
9月3日	リーダーシップ事前研修	中澤美依氏	14名
10月9日	第1回リーダーシップ研修	中澤美依氏	15名
11月6日	第2回リーダーシップ研修	中澤美依氏	12名
12月5日	第3回リーダーシップ研修	中澤美依氏	15名

※施設内事業所研修会

実施日	テーマ	部署等	参加者数
9月10日	リスクマネジメント研修①	デイ	8名
9月13日	リスクマネジメント研修①	ケアハウス	2名
9月14日、16日	リスクマネジメント研修①	特養・ショート	18名
11月5日	リスクマネジメント研修②	デイ	8名
11月26日	感染症研修	ケアハウス	2名
2月10日、17日	リスクマネジメント研修②	ショート	9名

【職員講師派遣・事例発表等】

滋賀県老人福祉施設研究協議大会、社会福祉学会にて、地域の公益的な取り組みについて事例発表し、奨励賞を受賞した。

日付	内容	派遣人数
6月11日	滋賀県介護支援専門員研修専門課程ⅠAコース	1名
6月21日	滋賀県介護支援専門員研修専門課程ⅡEコース	1名
7月29日	滋賀県介護支援専門員研修専門課程ⅡAコース	1名
9月28日	外国人介護職員養成研修（介護保険）	1名
10月6日	介護職員初任者研修（人権と尊厳を支える介護・自立に向けた支援）	1名
10月10日	主任介護支援専門員更新研修演習指導者Aコース	1名
10月19日	介護職員初任者研修（介護保険）	1名
11月23日	介護職員初任者研修（生活と家事）	1名
11月14日	滋賀県老人福祉施設研究協議大会事例発表	2名
11月30日	介護サービス事業所研修	1名
12月1日	介護職員初任者研修（整容に関連したところからだのしくみと自立に向けた支援）	1名
12月3日	滋賀県主任介護支援専門員指導者養成研修	1名
2月1日	介護職員初任者研修（介護課程の基礎的理解他）	1名
2月2日	介護職員初任者研修（総合生活支援技術演習）	1名
2月（3日間）	介護支援専門員実務研修ファシリテーター	1名
2月21日	第38回社会福祉学会	2名

【実習生、ボランティア受け入れ】

学校等より31名の実習生を受け入れした。また、多くの団体、個人のボランティアの皆様にご支援とご協力を頂いた。

実 習	
◇ 聖徳中学校 職場体験学習	2名
◇ 滋賀学園高校 介護職員初任者研修・介護福祉現場実習	26名
◇ NPO 法人街かどケア滋賀ネット 外国人介護職員養成研修施設実習	3名
ボランティア	
＜団体＞◇ 公益社団法人顔と心と体研究会（リハビリメイク） ◇ ひまわり会（喫茶・敬老会）	
◇ 杉の子会（夏祭り） ◇ 湖東信用金庫（夏祭り） ◇ 滋賀銀行（夏祭り） ◇ 中島商事（夏祭り）	
◇ ワークホームズ（夏祭り） ◇ ライフテックミツダ（夏祭り） ◇ 建部日本赤十字奉仕団（除草作業・窓拭き）	
◇ 建部民生児童委員（除草作業・夏祭り）	
＜個人＞◇ 江頭翼（歌謡） ◇ ダイヤモンドクラブ（歌謡・踊り）	

【地域交流・貢献】

たてべの福祉を語る場に定期的に参加した。建部地区サロンの支援のため職員を派遣し、ふれあい広場の看板を設置し立ち寄りやすい環境をつくり、羊2頭を飼育した。サロン支援では、入居者と共同制作した手作りゲームの貸し出しも始め、羊に飼育については、事業所の担当制とし、より多くの職員に参加してもらった。各種団体への会場提供、講師派遣に協力した。

日 付	内 容	参加者数
4月11日	第55回たてべ福祉を語る場	1名
4月17日	サロン支援（建部南）	2名
5月9日～10月16日	羊の飼育とふれあい広場の提供	—
6月16日～18日	第5回作品展示会	
6月17日	サロン支援（建部日吉）	2名
7月2日	第57回たてべ福祉を語る場	1名
7月 5日	建部民協会議	12名
7月25日	滋賀県青年経営協座布団会・施設見学	19名
8月21日	真野しょうぶ園様施設見学	2名
8月25日	カルナ納涼夏祭り	324名
9月3日	第58回たてべ福祉を語る場	1名
9月28日	建部幼稚園運動会	7名
10月3日	第59回たてべ福祉を語る場	1名
10月5日～2月16日	三方よし介護職員初任者研修	12名
10月9日	北小ふれあい委員会	17名
10月28日	認知症対応型通所介護運営推進会議	7名
11月6日	建部幼稚園交流会	44名
11月11日	第60回たてべ福祉を語る場	1名
11月26日	建部地区サロン支援交流会	30名
12月12日	第61回たてべ福祉を語る場	1名
2月6日	第62回たてべ福祉を語る場	1名

4. 年間行事等

4 月	1日職員全体会議 17日第1回経営会議	10 月	21日職員の健康診断、ストレスチェック 16日第7回経営会議 29日職員インフルエンザ予防接種 30日入居者健康診断
5 月	13日消防設備機器点検① 15日第2回経営会議 29日前年度上半期及び総合評価者会議 30日監事監査 31日総合避難訓練	11 月	6日～28日文化月間（展示） 8日消防設備機器点検② 5日インフルエンザ予防接種 8日滋老協研究協議大会（3名参加） 20日第8回経営会議
6 月	3日第1回理事会 18日第1回評議員会・役員懇親会 18日第2回理事会・役員懇親会 19日第3回経営会議 19日職員交流ポーリング大会	12 月	2日上半期評価者会議 7日建部日赤窓ふき作業 18日第9回経営会議 18日法人忘年会
7 月	17日第4回経営会議 18～19日近畿老人福祉施設滋賀大会 （7名参加） 20日建部民協中庭剪定作業 25日青年経営協座布団会・施設見学 28日建部日赤除草奉仕作業	1 月	1日年賀式 15日第10回経営会議 28日、29日近畿老人福祉施設施設長研 修会（神戸） 31日第2回理事会
8 月	21日第5回経営会議 25日カルナ納涼夏祭り 28日夏祭り打ち上げ	2 月	19日第11回経営会議 21日社会福祉学会（3名参加） 25日夜間想定消火訓練
9 月	17日びわこ学院大学職場説明会 18日第6回経営会議 29日カルナハウス敬老会	3 月	6日夜勤者健康診断 18日第12回経営会議 27日監事監査 27日第3回理事会